

学校だより **明るく 元気に たくましく**

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304

FAX 082-245-0349

平成24年3月2日発行

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



高等部お別れ会で在校生が3年生を送り出しています。

□ はじめに

テレビやラジオで、さくらを題材とした歌が、ちらほらと聞かれるような季節となりました。春も近づいてきましたが、あの東日本大震災が起こった日も近づいてきました。もうすぐ一年がたちます。高等部3年生の生徒は、授業をきっかけとして被災者の方へ支援のための募金活動を行いました。御協力ありがとうございました。卒業しても、人を思いやるやさしさを忘れずに新しい社会で生活していってくれることと思います。3月9日(金)高等部第3学年の生徒74名は卒業します。今、卒業証書授与式の練習に励んでいます。日頃の学習した成果をしっかりと発揮して、思い出に残る式にしたいと考えています。

なお、小学部第6学年の児童11名と中学部第3学年の生徒31名は、3月15日(木)に卒業証書授与式を行います。3学期も残り少なくなりましたが、児童生徒が一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

□ 高等部入学者選考と小中学部入学調査

2月8日(水)、高等部入学者選考を実施しました。本年度、職業コースを設置し、学力検査、作業能力検査等を行い、合格者を出すことから、昨年度までの入学調査から、初めて入学者選考として実施することとしました。職業コースの受検者は24名、普通科の受検者は69名、計93名が受検しました。昨年度の入学調査者数が49名でしたので、約2倍の増加です。受検者は、皆、中学校や中学部で学んできたことを緊張しながらも、精一杯発揮しようと取り組んでいました。2月15日(水)、職業コース16名、普通科77名の合格を発表しました。本年度の新入生は、4月から、障害実態に応じた新しい教育課程で学んでいくこととなります。このたびの入学者選考により、職業コース、普通科合わせて91名の入学が決まりました。職業コースの設置の趣旨は、生徒一人一人の教育的ニーズに対応し、職業的自立を促進するためです。普通科の生徒も同様に生徒の自立と社会参加に向け、きめ細やかな教育の推進に努めていきます。



高等部入学者選考日の玄関前の様子

2月22日(水)は、小・中学部入学調査を実施し、小学部は13名、中学部は22名(本校小学部からの進学者を除く)の入学調査を行いました。児童生徒の活動の様子や保護者の方との面談から、児童生徒の実態把握をするとともに、医療的ケア、アレルギーに関する事項、給食の食形態等について、保護者の方から配慮事項をお聞きしました。安心して本校に入学していただくため、万全の準備をして、入学式を迎えるように努めます。

□ 学校保健委員会



学校保健委員会の会議の様子



このたびお辞めになる渡貞雄学校医
(左)と宮脇浩学校医(右)

2月9日(水)第2回学校保健委員会を行いました。本年度の学校保健関係行事について、学校医・学校歯科医・学校薬剤師による診断、相談及び指導助言のまとめ、学校給食の実際及び食育の取組、医療的ケアの今後の対応等について議事を進めてまいりました。その中で、上田学校歯科医から、食育推進に関して、一口30回以上噛むことを目標とした嚙ミング30運動の紹介、牛尾学校医からは、今後の医療的ケアの動向に関して、痰の吸引等について一定の研修を受けた教師による医療的ケアも可能になる方向

向が示されたことについて説明がありました。また、3月末をもって、渡貞雄学校医、宮脇浩学校医、金谷泰裕学校医の3名の学校医の方がお辞めになられることになりました。その中で、御出席いただいた渡貞雄学校医、宮脇浩学校医に、それぞれ『骨の成長と変形、老化について』『特別支援学校への耳鼻科学校医の関わり』と題して御講話をいただきました。学校医の方の児童生徒に対する深い愛情が感じられる御講話でした。3名の学校医の方には、本当にお世話になりました。

□ 児童生徒の発表会

2月12日(日)には、広島市主催のマーガレットコンサートが広島国際会議場で行われました。このコンサートは、障害者と広島交響楽団とのジョイントコンサートであり、本校高等部から生徒13名、保護者8名が参加しました。当日まで8回の練習に参加して



マーガレットコンサートで合唱
する本校生徒と他団体の皆さん

披露した曲は、『さんぽ』『昂』『あすという日が』という曲で、緊張とうれしさ、楽しさと不安が交錯する中で、一生懸命に歌っていました。また、手話や接客で活躍する友達もいました。他の障害者団体の中には、多くの本校卒業生の姿も見られ、さしずめ、同窓会のようなでした。

2月15日(水)には、小学部低学年合同発表会を行いました。1学年は、劇『さつまのおいも』、2学年は、劇『がらがらどん』、3学年は、劇『ゆかいななかまの1ねんかん』を演じました。一人一人の個性あふれる演技、発表でも裏方の仕事でも頑張っている姿は、多くの保護者の方の温かい励ましを呼び、また、その温かい励ましが児童に達成感や成功感を味わわせたことと思います。

このような発表の場をもつことは、児童生徒にとってとてもよい経験となることでしょう。この経験を生かして、これからも、多くのことに自信をもって意欲的に取り組んで欲しいと願っています。



小学部2学年学習発表会

『がらがらどん』でやぎを演じている児童。

□ 高等部生徒就職支援連携会議



高等部生徒就職支援連携会議の様子

2月16日(木)高等部の生徒の企業就労に関する課題の検討、情報交換を目的に、高等部生徒就職支援連携会議を実施しました。参加いただいた機関は、広島公共職業安定所、広島東公共職業安定所、広島障害者職業センター、広島県就労振興センター、広島障害者就業・生活支援センター、広島障害者雇用支援センター、広島市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課、広島市教育委員会特別支援教育課であり、本校の生徒の就労に関して、多くの方が熱心に話し合ってくださいました。そして、就労には、家族の協力が大変重要であること、人間関係形成に関わる能力が課題となる場合もあること等の御意見をいただきました。他校では、就労移行支援会議という名称で、本人、保護者、学校、支援機関が内定した企業で会議を行っていること、特別支援学校就職支援教員(ジョブサポートティチャー)の活躍があること等の情報もいただきました。これらいただいた貴重な御意見は、今後の取組に生かして行かなければならないと考えています。御協力いただきました関係機関の皆様、ありがとうございました。

□ 小・中学部保護者対象教育課程説明会

2月27日(月)小・中学部の保護者を対象にした教育課程説明会を実施しました。教育課程とは、学習指導要領によると、「組織的、継続的に児童生徒に対する教育を行っていくために必要な教育計画であり、各学校が教育活動を進めていく上での基本となるもの」と記されています。このたび、本校では、その教育課程の見直しをしました。それは、障害の多様化により、これまでの単一と重複による二つの教育課程では対応が困難になりつつあるからです。将来の自立と社会参加を実現させていくためには、一人一人に応じた指導を一層充実させる必要があります。そのため、各学部とも類型を設けることにより、児童生徒それぞれの実態にあった学習を進め、教育効果を高めることができると考えています。なお、高等部の教育課程説明会は、3月12日(月)を計画しています。



小・中学部保護者対象教育課程説明会の様子

□ 贈呈式について

2月21日(火)は、広島中央ロータリークラブ会長 藤村欣吾様以下34名の皆様から、清掃道具運搬車6台を寄贈いただき、その贈呈式を行いました。校内だけでなく中区役所等へ出向いて清掃の実習も行っていますので、今後とも大いに活用させていただきます。

2月27日(月)は、市議会議員 若林新三様、日本競輪選手会広島支部長 安田光義様、副支部長 工義房様をお迎えし、日本競輪選手会広島支部より自転車2台寄贈いただき、その贈呈式を行いました。交通ルールを守って、大切に使用させていただきます。

寄贈していただきました広島中央ロータリークラブの皆様、日本競輪選手会広島支部の皆様、ありがとうございました。



生徒が広島中央ロータリークラブの方
に接客をしています。

□ 終わりに

○ 2月25日(土)、26日(日)制服の採寸を本校で行いました。この二日間を含め、2月末現在で、新年度中学部・高等部第1学年他122名の生徒から、制服の申込みがありました。

○ 厳しい寒さが続いており、インフルエンザもまだ流行しています。児童生徒の健康観察をよろしくお願い申し上げますとともに、保護者の皆様方におかれましては、お体を御慈愛ください。



日本競輪選手会広島支部長、副支部長
に感謝状を贈呈しています。

制服の採寸の様子

